

# フクロムシ 2新種発見

## ヤドカりに寄生

琉大院生・吉田さん

### 沖繩初、世界で25年ぶり



琉球大学大学院理工学研究科で研究している

吉田隆太さん(24)の写真



「このほど、沖縄本島に

生ずる「フクロムシ」の新種2種を発見した。ナガフクロムシ科の新種発見は世界でも25年ぶり。沖縄県からの報告は初めて。

に研究されてこなかった。吉田さんは大学4年生の卒業研究ではヤドカリを研究しており、その中でフクロムシが寄生したヤドカリを発見。1年半かけてフクロムシの種類を調べたが、これまで報告されたどの種にも当てはまらないことが分かり、新種発見となった。

フクロムシはフジツボに近い甲殻類で、同じ甲殻類のエビやカニなどに寄生する。世界で約260種、日本で43種が確認されている。今回発見された2種はナガフクロムシ科ペルトガスター属の新種と、「種」よりも上の分類「属」でもこれまで発見されていなかった「新属」のフクロムシ。吉田さんらが「オンマトガスター属」と名付けた。2新種は泡瀬干潟と羽地内海で発見された。

ヤドカリに寄生するフクロムシはヤドカリの貝殻を取り除かなくては発見できないため、これまで十分に

吉田さんは「これからフクロムシの研究をする人に役立つてほしい」と喜び、「フクロムシの寄生率はヤドカリのすみ場所や季節で変わるのでその理由を調べたい」と力を込めた。指導した広瀬裕一教授は「フクロムシは身近にいる生物なのにほとんど調べられていない。沖縄にはまだ発見されていない種がもつといるだろう」と話した。



ヤドカリに寄生した新属新種のフクロムシ(矢印、吉田隆太さん提供)